

地区会で寄せられた主なご意見、及び学校からのお願い

※ 小学校の授業参観と重なるので、6月の資源回収の日を変更してほしい。

小学校のお子さんがみえる保護者の方には、あわただしい思いをさせて、ご迷惑をおかけしました。

新聞店の資源回収も毎年近い日で実施されています。中学校としても日程を前後にずらしたいのですが、前にずらすと第1回テストや3年修学旅行があり、後ろだと、天候不良も予想され、部活動も追い込みの時期にもなります。1学期に実施するのであれば、この6月初旬しかできないと考えています。

※ 拠点回収方式を理解されない世帯が多くなった。生徒・保護者とも参加率が悪かった。

拠点回収方式になって8年です。当然そのときにも議論があったと聞きました。やっと定着したという意見もあります。しかし、一部の方で、車などで戸別回収をしてくださっているのが現状です。ただ反面、生徒・保護者ともに協力的にできた、上級生中心にまとまって取り組めたという感想も多数寄せられました。今いちど、拠点回収方式については、周知していきたいと考えます。

そして、地区によっては参加生徒・保護者の参加率が悪く、地区担当員など一部の方に多大なるご負担をかけました。申し訳ありませんでした。

※ 平日に実施をするか、土曜日の午前中に授業参観を行い、午後に実施したらどうか。

資源回収を実施している中学校は、平日に実施をするか、土曜日に授業参観を行い、午後に実施するか、どちらかの方法で実施しています。

ただ、千人を超える生徒が一斉に活動をするとなると、交通事故等の心配もあり、西部中では難しいと考えております。

また、西部中の資源回収は育友会主催の行事です。ですから生徒はボランティア参加になるわけです。出席を取り、サボる生徒を指導するのもひとつの方法ですが、強制されてもやらない生徒はやりません。強制されなくても、ボランティア精神を持ち自主的に手伝ってくれる生徒を、一人でも増やしていきたいと考えています。

